

平成 18 年 10 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社 タカラトミー
代表者名 代表取締役社長
富 山 幹 太 郎
(コード番号 7867 東証第 1 部)
問合せ先 常務取締役管理統括本部長
三 浦 俊 樹
(TEL 03-5654-1280)

当社子会社の業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社の株式会社ユージン（本社：東京都葛飾区、代表取締役社長：田中延茂）では平成 18 年 5 月 12 日の同社決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）連結中間、連結通期、単独中間及び単独通期の各業績予想を別添資料の通り修正しましたのでお知らせいたします。

なお、当社の平成 19 年 3 月期連結中間及び連結通期業績予想全体に及ぼす影響は軽微であり、現時点では平成 18 年 5 月 25 日に公表した予想値を変更しておりません。

以 上

各 位

東京都葛飾区立石三丁目 19 番 3 号
株 式 会 社 ユ ー ジ ン
代 表 取 締 役 社 長 田 中 延 茂
(コード番号：7828)

問い合わせ先：

常務取締役管理本部長 松 葉 光 雄
電 話 番 号 03 (3696) 6001 (代表)

業績予想及び配当予想の修正について

平成 18 年 5 月 12 日付で発表した平成 19 年 3 月期の中間期及び通期の業績予想と配当予想を
下記のとおり修正いたします。

1. 平成 19 年 3 月期中間期業績予想の修正（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

（1）連 結

（修正内容）

（単位：百万円）

| | 売 上 高 | 経常利益 | 中間純利益 |
|-------------|-------|-------|--------|
| 前 回 予 想 (A) | 5,464 | 89 | 26 |
| 今 回 修 正 (B) | 5,400 | 170 | 74 |
| 増 減 額 (B－A) | △64 | 81 | 48 |
| 増 減 率 | △1.2% | 91.0% | 184.6% |
| 前 期 実 績 | 5,874 | 534 | 266 |

（修正理由）

売上面では、欧州での販売が前期に大きく伸びた後も比較的堅調なほか、今期より米国で本格的に販売を開始したディズニー商品（「くまのプーさん」）が好調に推移しているものの、特に国内で、他社向け景品等の OEM 販売が大きく拡大を見込んだ当初の計画に及ばず、当社からのアジア向け販売も伸び悩んでいるため、前回予想と比較してほぼ横ばいとなる見込みであります。

しかしながら、原価率が全体としてはやや改善するうえに、販管費も経費の一部削減により減少すると見ており、利益面では前回予想を上回ると予想しております。

(2) 個 別

(修正内容)

(単位:百万円)

| | 売 上 高 | 経常利益 | 中間純利益 |
|-------------|-------|----------|--------|
| 前 回 予 想 (A) | 4,244 | 10 | 5 |
| 今 回 修 正 (B) | 4,136 | 130 | 44 |
| 増 減 額 (B－A) | △108 | 120 | 39 |
| 増 減 率 | △2.5% | 1,200.0% | 780.0% |
| 前 期 実 績 | 4,531 | 408 | 236 |

(修正理由)

海外販売(子会社による販売)の部分を除き、連結中間期業績予想の修正理由と概ね同様であります。

2. 平成19年3月期通期業績予想の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(1) 連 結

(修正内容)

(単位:百万円)

| | 売 上 高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------|--------|--------|--------|
| 前 回 予 想 (A) | 11,515 | 645 | 323 |
| 今 回 修 正 (B) | 10,800 | 310 | 130 |
| 増 減 額 (B－A) | △715 | △335 | △193 |
| 増 減 率 | △6.2% | △51.9% | △59.8% |
| 前 期 実 績 | 10,559 | 636 | 312 |

(修正理由)

第2四半期以降これまでの動きから見て、上期に引続き海外での販売が好調に推移するとともに、主力である国内のトイベンディング事業もほぼ前回予想どおりとなる一方、上期と同様に、他社向け景品等のOEM販売やアジア向け販売が当初の計画に及ばず、全体の売上高は前回予想をやや下回ると予想しております。

加えて、原価率が当初想定した水準には達せず、利益面でも前回予想を下回る見込みであります。

(2) 個 別

(修正内容)

(単位：百万円)

| | 売 上 高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------|-------|--------|--------|
| 前 回 予 想 (A) | 9,187 | 464 | 250 |
| 今 回 修 正 (B) | 8,400 | 260 | 120 |
| 増 減 額 (B－A) | △787 | △204 | △130 |
| 増 減 率 | △8.6% | △44.0% | △52.0% |
| 前 期 実 績 | 8,373 | 438 | 220 |

(修正理由)

海外販売（子会社による販売）の部分を除き、連結通期業績予想の修正理由と概ね同様であります。

3. 平成19年3月期末配当予想の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(修正内容)

(単位：円)

| | 中間期 | 期 末 | 年 間 |
|-------------|------|--------|--------|
| 前 回 予 想 (A) | 0.00 | 2,500 | 2,500 |
| 今 回 修 正 (B) | 0.00 | 1,300 | 1,300 |
| 増 減 額 (B－A) | － | △1,200 | △1,200 |
| 増 減 率 | － | △48.0% | △48.0% |
| 前 期 実 績 | 0.00 | 3,000 | 3,000 |

(注) 前期の期末配当金には上場記念配当 600.00 円が含まれております。

(修正理由)

上記のとおり、平成19年3月期の業績が悪化する見込みであるため、配当予想を修正することとしました。

以 上